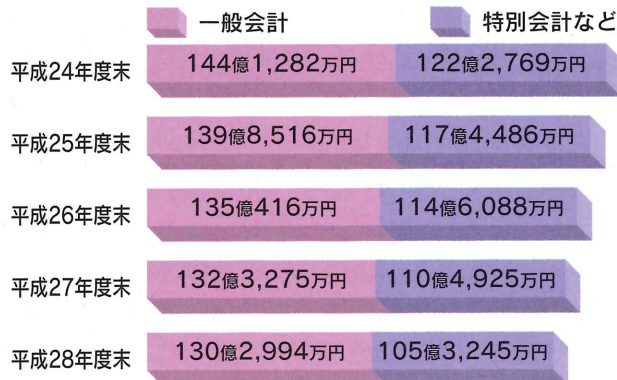


市債残高の状況



道路整備や学校建設などの大きな事業を行う際には多額の資金が必要となります。しかし、その資金を単年度で確保することが困難である場合には、市債(市の借金)を借り入れて事業を行います。市債には、将来の税金を返済に充てること、整備される施設の費用負担を、利用する世代間で公平にするという効果もあります。

平成28年度は財政融資資金などの政府資金と銀行など民間資金を借入先としています。市債残高は総額で減少しており、市債は、返済能力範囲内で計画的に活用しています。

平成28年度特別会計決算の状況

特別会計とは、特定の事業に伴う使用料や手数料などによってその事業を行うための会計で、歳入、歳出の状況を分かりやすくするために一般会計と区別しています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
特別会計 計	81億6,145万円	78億5,127万円	3億1,018万円
後期高齢者医療事業特別会計	4億7,246万円	4億6,243万円	1,003万円
国民健康保険事業特別会計	43億5,487万円	41億9,579万円	1億5,908万円
介護保険事業特別会計	32億4,822万円	31億1,569万円	1億3,253万円
介護サービス事業特別会計	2,793万円	2,742万円	51万円
駐車場事業特別会計	5,797万円	4,994万円	803万円

水道事業・下水道事業決算状況を報告します

水道事業

岐阜県東部広域水道事務所に施工を委託し、県送水管と並列に耐震管を敷設しました。

業務状況と経理状況 給水件数 14,748件 総給水量 3,850,468m³(前年度比324,633m³増)

収益的収支決算				資本的収支決算			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	9億1,340万円	営業費用	10億4,200万円	工事負担金	747万円	建設改良費	1億1,883万円
営業外収益	1億8,090万円	営業外費用	5,072万円	分担金	2,875万円	企業債償還金	1億6,736万円
特別利益	1,047万円	特別損失	133万円	出資金	4,088万円	国庫補助金返還金	204万円
				補助金	969万円		
計	11億 477万円	計	10億9,405万円	計	8,679万円	計	2億8,823万円

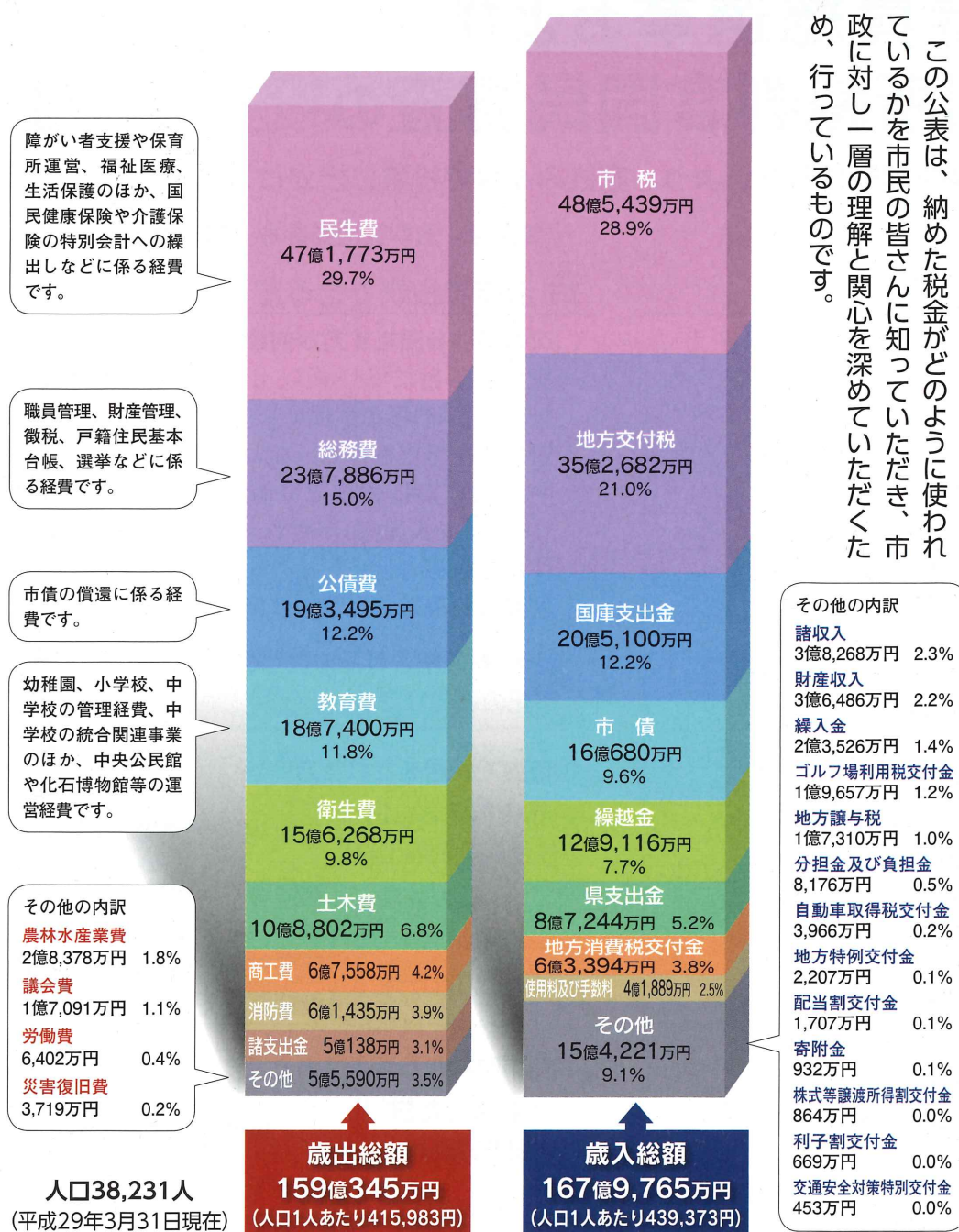
下水道事業(公共下水道・農業集落排水事業)

事業の効率化と透明性の向上のため、平成28年度から地方公営企業法を適用し、経理方式を民間企業に準じた公営企業会計に移行しました。

業務状況と経理状況 処理区域内人口 29,107人(公共下水道27,248人、農業集落排水1,859人) 年間有収水量 2,716,463m³(前年度比232,288m³増)

収益的収支決算				資本的収支決算			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	5億4,946万円	営業費用	9億6,180万円	企業債	6,440万円	建設改良費	3億3,132万円
営業外収益	5億9,442万円	営業外費用	1億7,500万円	負担金	1,113万円	企業債償還金	4億9,943万円
特別利益	1,085万円	特別損失	1,609万円	出資金	1億8,036万円		
				補助金	3億 473万円		
計	11億5,473万円	計	11億5,289万円	計	5億6,062万円	計	8億3,075万円

平成28年度一般会計決算



平成28年度「瑞浪市の決算状況」をお知らせします

平成28年度決算状況

市議会9月定例会で平成28年度決算が認定されました。

一般会計の歳入総額は167億9765万円、前年度比2億147万円、1.2%の増となりました。この要因は、大型建設事業の財源として市債を活用したことや、クリエイションパーク内の土地の売却収入により、財産収入が増加したためです。

一般会計の歳出総額は159億345万円、前年度比5億9843万円、3.9%の増となりました。この要因は瑞浪北中学校の整備や市役所庁舎の耐震化・長寿命化事業、産業振興センター再整備などの大型建設事業によるものです。また平成28年度より、下水道事業が地方公営企業法を適用(法適化)したため、土木費は減少したものの、諸支出金が増加しました。

今後、適正な財政運営のもと、学校統合や地域活性化、人口減少問題などに積極的に取り組み、市民一人ひとりが快適に暮らせるまちづくりを行います。

▲市役所庁舎の耐震化・長寿命化事業